

協力と創造の 新契約システム

経済・社会の大きな変化のもとで、新たな活路を創造するための様々な協力が求められる。これを、その契約という面から見直してみよう。

固定観念から契約への脱皮(その2)
■親子間でも協力契約を

「本当は会社を継ぎたくなかつた
兄弟で会社の経営権を
あらそった挙げ句、弟の
「本当は俺
は新聞記者
になりたか

第2回 柔軟性求められる「世襲」

「たのになあ……」と、
県内B社のYさん。
「……日本の連帯保証人の
制度などが子の将来も
縛ったとも云えよう。」
だが他方では、学校出
た……との想いが心の底
にうごめく。

■継いだ理由

親の事業を継いだ、そ
の要因はいろいろあった
のだろう。確かに親の説
得もあった。「個人の家
屋敷も銀行借入れの担
保に入っている。この事
業をやめれば屋敷を売ら
ねばならない。父さん母
さんがこの屋敷から出な
ければならなくなつて
も、お前は何ともないの
か?」

「教ある従業員に
守るだけでは経営が統
仕事に対する創業者の適
■実は親の老後

「……」と、
道に進んでおけばよかつ
た……との想いが心の底
にうごめく。

よその世界の世襲は批
判しても自社の世襲はあ
たりまえだと思つてき
る。だから個性なのだろ
う。それゆえ様々な変化
の中で生き残る個性も生
まれ種としては存続す
る。勿論、中には親の事
業をもっと発展させる個
性も生まれることもある
から人生は不思議だ。

「……」と、
オスメス型生物は両親
から半分ずつ遺伝子を貰
い受けるので、子は父と
母と違つても違つて。新
いも心の奥底にあったの
う。だが、その反面で、
親が己の老後を心配して
その安定のために子に事
業を継がせようという願
うでしようか。「親は子
のため」「子は親のため
に」を固定観念でみるか
情勢と適性にしたがって
契約関係を結んで生かし
あうか、よくよく本音で
話し合いたいものです。
適性にあつた道を歩む子
供の方が親の将来を保証
する力を思つてまに発揮
できるかも。特に変化の
時代には。その要は固定
観念から契約への脱皮で
す。

「……」と、
道に進んでおけばよかつ
た……との想いが心の底
にうごめく。

よその世界の世襲は批
判しても自社の世襲はあ
たりまえだと思つてき
る。だから個性なのだろ
う。それゆえ様々な変化
の中で生き残る個性も生
まれ種としては存続す
る。勿論、中には親の事
業をもっと発展させる個
性も生まれることもある
から人生は不思議だ。

「……」と、
オスメス型生物は両親
から半分ずつ遺伝子を貰
い受けるので、子は父と
母と違つても違つて。新
いも心の奥底にあったの
う。だが、その反面で、
親が己の老後を心配して
その安定のために子に事
業を継がせようという願
うでしようか。「親は子
のため」「子は親のため
に」を固定観念でみるか
情勢と適性にしたがって
契約関係を結んで生かし
あうか、よくよく本音で
話し合いたいものです。
適性にあつた道を歩む子
供の方が親の将来を保証
する力を思つてまに発揮
できるかも。特に変化の
時代には。その要は固定
観念から契約への脱皮で
す。

「……」と、
オスメス型生物は両親
から半分ずつ遺伝子を貰
い受けるので、子は父と
母と違つても違つて。新
いも心の奥底にあったの
う。だが、その反面で、
親が己の老後を心配して
その安定のために子に事
業を継がせようという願
うでしようか。「親は子
のため」「子は親のため
に」を固定観念でみるか
情勢と適性にしたがって
契約関係を結んで生かし
あうか、よくよく本音で
話し合いたいものです。
適性にあつた道を歩む子
供の方が親の将来を保証
する力を思つてまに発揮
できるかも。特に変化の
時代には。その要は固定
観念から契約への脱皮で
す。

「……」と、
オスメス型生物は両親
から半分ずつ遺伝子を貰
い受けるので、子は父と
母と違つても違つて。新
いも心の奥底にあったの
う。だが、その反面で、
親が己の老後を心配して
その安定のために子に事
業を継がせようという願
うでしようか。「親は子
のため」「子は親のため
に」を固定観念でみるか
情勢と適性にしたがって
契約関係を結んで生かし
あうか、よくよく本音で
話し合いたいものです。
適性にあつた道を歩む子
供の方が親の将来を保証
する力を思つてまに発揮
できるかも。特に変化の
時代には。その要は固定
観念から契約への脱皮で
す。

「……」と、
オスメス型生物は両親
から半分ずつ遺伝子を貰
い受けるので、子は父と
母と違つても違つて。新
いも心の奥底にあったの
う。だが、その反面で、
親が己の老後を心配して
その安定のために子に事
業を継がせようという願
うでしようか。「親は子
のため」「子は親のため
に」を固定観念でみるか
情勢と適性にしたがって
契約関係を結んで生かし
あうか、よくよく本音で
話し合いたいものです。
適性にあつた道を歩む子
供の方が親の将来を保証
する力を思つてまに発揮
できるかも。特に変化の
時代には。その要は固定
観念から契約への脱皮で
す。

生活はいつなるのだ。皆
お前が事業を継いでくれ
ることを期待している
「こんなことなら始めか
なない。やがて兄弟で意
見を異にして内紛に。
み重なつて時代の寵児と
なつて築かれたものでは
を願う気持ちからであ
る。だが、その反面で、
親の事業を継がせるの
ではないだろうか。
この心を打ち明け、他
方では子の適性にしがた
なつて築かれたものでは
を願う気持ちからであ
る。だが、その反面で、
親の事業を継がせるの
ではないだろうか。
この心を打ち明け、他
方では子の適性にしがた

「……」と、
オスメス型生物は両親
から半分ずつ遺伝子を貰
い受けるので、子は父と
母と違つても違つて。新
いも心の奥底にあったの
う。だが、その反面で、
親が己の老後を心配して
その安定のために子に事
業を継がせようという願
うでしようか。「親は子
のため」「子は親のため
に」を固定観念でみるか
情勢と適性にしたがって
契約関係を結んで生かし
あうか、よくよく本音で
話し合いたいものです。
適性にあつた道を歩む子
供の方が親の将来を保証
する力を思つてまに発揮
できるかも。特に変化の
時代には。その要は固定
観念から契約への脱皮で
す。

「……」と、
オスメス型生物は両親
から半分ずつ遺伝子を貰
い受けるので、子は父と
母と違つても違つて。新
いも心の奥底にあったの
う。だが、その反面で、
親が己の老後を心配して
その安定のために子に事
業を継がせようという願
うでしようか。「親は子
のため」「子は親のため
に」を固定観念でみるか
情勢と適性にしたがって
契約関係を結んで生かし
あうか、よくよく本音で
話し合いたいものです。
適性にあつた道を歩む子
供の方が親の将来を保証
する力を思つてまに発揮
できるかも。特に変化の
時代には。その要は固定
観念から契約への脱皮で
す。

「……」と、
オスメス型生物は両親
から半分ずつ遺伝子を貰
い受けるので、子は父と
母と違つても違つて。新
いも心の奥底にあったの
う。だが、その反面で、
親が己の老後を心配して
その安定のために子に事
業を継がせようという願
うでしようか。「親は子
のため」「子は親のため
に」を固定観念でみるか
情勢と適性にしたがって
契約関係を結んで生かし
あうか、よくよく本音で
話し合いたいものです。
適性にあつた道を歩む子
供の方が親の将来を保証
する力を思つてまに発揮
できるかも。特に変化の
時代には。その要は固定
観念から契約への脱皮で
す。

「……」と、
オスメス型生物は両親
から半分ずつ遺伝子を貰
い受けるので、子は父と
母と違つても違つて。新
いも心の奥底にあったの
う。だが、その反面で、
親が己の老後を心配して
その安定のために子に事
業を継がせようという願
うでしようか。「親は子
のため」「子は親のため
に」を固定観念でみるか
情勢と適性にしたがって
契約関係を結んで生かし
あうか、よくよく本音で
話し合いたいものです。
適性にあつた道を歩む子
供の方が親の将来を保証
する力を思つてまに発揮
できるかも。特に変化の
時代には。その要は固定
観念から契約への脱皮で
す。

「……」と、
オスメス型生物は両親
から半分ずつ遺伝子を貰
い受けるので、子は父と
母と違つても違つて。新
いも心の奥底にあったの
う。だが、その反面で、
親が己の老後を心配して
その安定のために子に事
業を継がせようという願
うでしようか。「親は子
のため」「子は親のため
に」を固定観念でみるか
情勢と適性にしたがって
契約関係を結んで生かし
あうか、よくよく本音で
話し合いたいものです。
適性にあつた道を歩む子
供の方が親の将来を保証
する力を思つてまに発揮
できるかも。特に変化の
時代には。その要は固定
観念から契約への脱皮で
す。

【加藤洪太郎・愛知県
中小企業研究財団副理事
長】名古屋第一法律事務
所・弁護士
(毎週水曜日に掲載)